

2024年度決算の概要



学校法人 関東学院

2024年度（2024年4月1日から2025年3月31日まで）の本法人の収支決算は、以下のとおりとなりました。
「資金収支計算書」「事業活動収支計算書」「貸借対照表」は、私立学校法第47条第1項及び私立学校振興助成法第14条の規定に基づき定められた「学校法人会計基準」により作成したものです。

2024年度決算の状況と分析

事業活動収支計算書では、収支を経常的（教育活動収支、教育活動外収支）なもの、と臨時的（特別収支）なものに区分して把握できるようになっています。2024年度決算をこの事業活動収支ベースで、2023年度の決算と比較すると次のようになります。

■事業活動収入計 2023年度： 217億1,900万円 → 2024年度： 226億 600万円（8億8,700万円増）
■事業活動支出計 2023年度： 284億3,200万円 → 2024年度： 236億7,000万円（47億6,200万円減）
■基本金組入前当年度収支差額 2023年度： △67億1,300万円 → 2024年度： △10億6,400万円（56億4,900万円増）

教育活動収支を2023年度決算と比較すると、収入では、学生生徒等納付金が学生生徒等の増加と学費改定により3億1,800万円増加、手数料が入学志願者数増により3,400万円増加、寄付金が1億5,800万円増加するなど、すべての科目で増加しました。支出では、教員人件費と退職金の増加により、人件費全体で2億1,600万円の増加、教育研究経費は、金沢文庫キャンパスと金沢八景キャンパス（室の木）の校舎等の減築により、12億1,500万円の増加となっています。教育活動外収支では、受取利息・配当金が3,100万円増加しました。

2024年度決算における収支差額は、教育活動収支で6億9,900万円の支出超過、教育活動外収支では6億7,700万円の収入超過で、両者を合わせた経常収支差額は2,200万円の支出超過となり、文部科学省が示す財務分析の視点の「困難A」に区分されますが、教育活動収支の大幅な支出超過は恒常的な要因ではなく、減築という一時的な要因によるものです。

財務比率について、日本私立学校振興・共済事業団 令和6年度版「今日の私学財政」より抜粋した全国の医歯系を除く520大学法人の2023年度決算の平均値と本学院の2024年度決算を比較した場合、以下のとおりです。

比率名		本学院			520法人		評価の目安
		2024年度	2023年度	前年度比	全国平均	全国平均比	
人件費比率	人件費	49.8	50.8	△ 1.0	50.9	△ 1.1	低い数値が良い
	経常収入						
教育研究経費比率	教育研究経費	41.3	37.4	3.9	36.6	4.7	高い数値が良い
	経常収入						
事業活動収支差額比率	基本金組入前当年度収支差額	△ 4.7	△ 30.9	26.2	4.2	△ 8.9	高い数値が良い
	事業活動収入						
純資産構成比率	純資産	82.8	83.0	△ 0.2	88.2	△ 5.4	高い数値が良い
	総負債＋純資産						
繰越収支差額構成比率	繰越収支差額	△ 17.7	△ 19.9	2.2	△ 17.0	△ 0.7	高い数値が良い
	総負債＋純資産						
流動比率	流動資産	306.5	284.5	22.0	267.1	39.4	高い数値が良い
	流動負債						
基本金比率	基本金	97.2	97.2	0.0	97.5	△ 0.3	高い数値が良い
	基本金要組入額						

学校法人会計の特徴と企業会計との違い

営利を目的として経済活動を行う企業では、利益の最大化を図るためにどれだけの成果をあげたのか（どれだけ純資産を増やしたのか）が重要になります。それに対し非営利組織である学校法人では、永続的な教育研究活動を遂行することを目的として活動するため、組織が存続するための必要条件が維持されているか（期首の純資産額）が重要になり、収支均衡状況が保たれているかを確認することが必要になります。

「資金収支計算書」は、本法人の当該年度の諸活動にかかるすべての収入・支出、資金の動きを総額で明らかにしたもので、これは企業会計における「キャッシュフロー計算書」に相当するものです。損益には関わらない前受金、預り金受入収入などの資金収入や、固定資産取得時の資金支出などを含め、どのような活動で資金が増減したか、収入及び支出の顛末を明らかにする計算書です。

企業会計における「キャッシュフロー計算書」は、当期中の資金の増減を原因別にし、営業活動によるキャッシュフロー、投資活動によるキャッシュフロー、財務活動によるキャッシュフローの3つに区分して表示しますが、学校法人会計における「資金収支計算書」にはこのような区分がありません。それを補うものとして、教育活動による資金収支、施設整備等活動による資金収支、その他の活動による資金収支の3つに区分して計算した「活動区分資金収支計算書」があります。これにより活動区分ごとの資金の流れが明らかになり、支払資金の収支差額が把握しやすくなっています。

「事業活動収支計算書」は、本法人の当該年度の事業活動を表す仕組みを担っており、企業会計でいうところの「損益計算書」にあたるものですが、その計算の仕組みに学校法人会計の特徴があります。

企業の「損益計算書」は、企業の経営成績を明らかにするため、当該会計期間におけるすべての収益及び費用について、営業利益に営業外損益を加減して経常利益を計算し、これに特別損益を加減して当期純利益を表示します。

学校法人会計における「事業活動収支計算書」では、収支を経常的なものと臨時的なものに分け、さらに経常的な収支を教育活動と教育外活動に、臨時的な収支は特別収支として区分し、それぞれの区分ごとに事業活動収入及び支出の状況を把握できるようにしています。

また、学校法人会計の特徴でもある基本金の組入額は、毎期の収支バランスを見るのに適した基本金組入前当年度収支差額の後ろに表示され、基本金組入前と基本金組入後の収支状況が読み取りやすくなっています。

「貸借対照表」は当該会計年度末時点（決算日）における資産・負債・正味財産を明らかにし、本法人の財政状態を表すものです。

「貸借対照表」は、企業会計も学校法人会計もほぼ同じ構造ですが、企業会計では資産－負債＝純資産（資本金）となり、学校法人会計では資産－負債＝純資産（基本金＋繰越収支差額）となります。

学校法人会計における「基本金」は、企業会計の「資本金」とは全く異なるものです。「基本金」は学校法人が永続的な教育研究活動を遂行し、学校の機能を維持するための教育研究活動に必要な校地、校舎、機器備品、図書等を継続的に保持するために維持すべき資産（財源）です。基本的に固定資産などの取得金額になります。

このように、学校を運営し教育研究活動を円滑に遂行することを目的とする学校法人では、会計においても企業会計とは異なる特徴があります。

2024年度 事業活動収支計算書

2024年4月1日～2025年3月31日 (単位：円)

授業料、入学金、実験実習料、施設設備資金、校費、その他の納付金(学会費、学生保険等)が含まれています。

各校の入学検定料、共通テスト実施手数料と休学時登録料、証明手数料等です。

テーマ募金や、研究奨学金、学生の課外活動・教育活動等に対する寄付金です。

人件費や教育研究活動に要する経費等に対し、国や県、市から交付される補助金です。その他、施設型給付費などの補助金も計上されます。

寮費、各種講座受講料、外部から委託を受けた研究費などです。

退職基金財団交付金、施設設備利用料等、上記の科目のいずれにも該当しない収入がここに入ります。

専任教職員や非常勤講師、臨時職員、役員の給与、退職給与引当金繰入額です。

学生・教員の教育研究活動に要した諸経費で、消耗品費、光熱水費、旅費交通費、奨学費、印刷製本費、賃借料、委託費などがあります。
この他、事業活動収支計算書に特有なものとして、減価償却額が含まれています。

総務や人事、経理など法人業務に要した経費や、教職員の福利厚生費、学生募集に係る経費などが含まれています。

有価証券、特定資産、株式、預貯金からの利息、配当金、分配金等です。

有価証券の売却に伴う差益です。

施設設備に対する補助金、寄付金等です。

有価証券の売却や、建物の取壊し等に伴う差損です。

過年度修正額等です。

事業活動収入から事業活動支出を差し引いたものです。当年度は、支出超過となりました。

当年度は下記の組入れを行いました。
●第1号基本金
(新たな施設整備・資産の取得)
法 人 約 9,160万円
六浦中高 約 1億3,450万円
六浦小 約 750万円

当年度は下記の取り崩しを行いました。
●第1号基本金
大 学 約 37億8,180万円
中 高 約 200万円
小学校 約 470万円
六浦園 約 460万円

教育活動収支	科目	予算	決算	差異
	学生生徒等納付金	16,155,217,000	16,200,336,205	△ 45,119,205
	手数料	406,601,000	395,781,790	10,819,210
	寄付金	190,951,000	373,409,238	△ 182,458,238
	経常費等補助金	3,166,140,000	3,343,275,038	△ 177,135,038
	付随事業収入	785,074,000	671,110,684	113,963,316
	雑収入	508,573,000	746,255,565	△ 237,682,565
	教育活動収入計	21,212,556,000	21,730,168,520	△ 517,612,520
	科目	予算	決算	差異
	人件費	11,142,441,000	11,200,565,304	△ 58,124,304
教育活動外収支	教育研究経費	10,093,448,000	9,292,956,526	800,491,474
	管理経費	2,004,406,000	1,935,764,293	68,641,707
	徴収不能額等	0	349,637	△ 349,637
	教育活動支出計	23,240,295,000	22,429,635,760	810,659,240
	教育活動収支差額	△ 2,027,739,000	△ 699,467,240	△ 1,328,271,760
	科目	予算	決算	差異
	受取利息・配当金	591,000,000	768,892,561	△ 177,892,561
	その他の教育活動外収入	0	7,000,223	△ 7,000,223
	教育活動外収入計	591,000,000	775,892,784	△ 184,892,784
	科目	予算	決算	差異
	借入金等利息	98,857,000	98,856,135	865
特別収支	その他の教育活動外支出	32,000	32,996	△ 996
	教育活動外支出計	98,889,000	98,889,131	△ 131
	教育活動外収支差額	492,111,000	677,003,653	△ 184,892,653
	経常収支差額	△ 1,535,628,000	△ 22,463,587	△ 1,513,164,413
	科目	予算	決算	差異
	資産売却差額	0	76,732,170	△ 76,732,170
	その他の特別収入	73,366,000	23,295,629	50,070,371
	特別収入計	73,366,000	100,027,799	△ 26,661,799
	科目	予算	決算	差異
	資産処分差額	505,133,000	1,137,998,696	△ 632,865,696
〔予備費〕	その他の特別支出	0	3,806,451	△ 3,806,451
	特別支出計	505,133,000	1,141,805,147	△ 636,672,147
	特別収支差額	△ 431,767,000	△ 1,041,777,348	610,010,348
	〔予備費〕	(175,273,000)		0
	基本金組入前当年度収支差額	△ 1,967,395,000	△ 1,064,240,935	△ 903,154,065
	基本金組入額合計	△ 340,058,000	△ 234,382,253	△ 105,675,747
	当年度収支差額	△ 2,307,453,000	△ 1,298,623,188	△ 1,008,829,812
	前年度繰越収支差額	△ 21,641,027,110	△ 21,641,027,110	0
	基本金取崩額	1,897,731,000	3,794,714,225	△ 1,896,983,225
	翌年度繰越収支差額	△ 22,050,749,110	△ 19,144,936,073	△ 2,905,813,037
(参考)	事業活動収入計	21,876,922,000	22,606,089,103	△ 729,167,103
	事業活動支出計	23,844,317,000	23,670,330,038	173,986,962

〔予備費〕	(175,273,000)		0
基本金組入前当年度収支差額	△ 1,967,395,000	△ 1,064,240,935	△ 903,154,065
基本金組入額合計	△ 340,058,000	△ 234,382,253	△ 105,675,747
当年度収支差額	△ 2,307,453,000	△ 1,298,623,188	△ 1,008,829,812
前年度繰越収支差額	△ 21,641,027,110	△ 21,641,027,110	0
基本金取崩額	1,897,731,000	3,794,714,225	△ 1,896,983,225
翌年度繰越収支差額	△ 22,050,749,110	△ 19,144,936,073	△ 2,905,813,037

(参考)			
事業活動収入計	21,876,922,000	22,606,089,103	△ 729,167,103
事業活動支出計	23,844,317,000	23,670,330,038	173,986,962

2024年度 資金収支計算書

2024年4月1日～2025年3月31日

(単位：円)

収入の部			
科目	予算	決算	差異
学生生徒等納付金収入	16,155,217,000	16,200,336,205	△ 45,119,205
手数料収入	406,601,000	395,781,790	10,819,210
寄付金収入	186,447,000	368,149,965	△ 181,702,965
補助金収入	3,214,823,000	3,343,275,038	△ 128,452,038
資産売却収入	1,725,000,000	9,016,895,256	△ 7,291,895,256
付随事業・収益事業収入	785,074,000	678,110,684	106,963,316
受取利息・配当金収入	591,000,000	768,892,561	△ 177,892,561
雑収入	508,573,000	749,439,804	△ 240,866,804
前受金収入	2,614,956,000	2,746,364,201	△ 131,408,201
その他の収入	5,184,707,639	6,559,599,553	△ 1,374,891,914
資金収入調整勘定	△ 2,933,703,165	△ 3,125,764,000	192,060,835
前年度繰越支払資金	8,722,378,886	8,722,378,886	
収入の部合計	37,161,074,360	46,423,459,943	△ 9,262,385,583

(単位：円)

支出の部			
科目	予算	決算	差異
人件費支出	10,758,912,000	11,178,035,903	△ 419,123,903
教育研究経費支出	7,385,343,000	6,467,687,928	917,655,072
管理経費支出	1,689,038,000	1,617,077,801	71,960,199
借入金等利息支出	98,857,000	98,856,135	865
施設関係支出	1,638,797,000	1,267,508,983	371,288,017
設備関係支出	299,546,000	329,555,538	△ 30,009,538
資産運用支出	4,954,522,000	15,156,743,555	△ 10,202,221,555
その他の支出	2,235,583,964	2,875,964,089	△ 640,380,125
〔予備費〕	(175,273,000)	0	0
資金支出調整勘定	△ 2,453,717,457	△ 1,922,182,759	△ 531,534,698
翌年度繰越支払資金	10,554,192,853	9,354,212,770	1,199,980,083
支出の部合計	37,161,074,360	46,423,459,943	△ 9,262,385,583

施設売却収入及び有価証券売却収入で年間の売却額の合計です。

翌年度入学予定の学生生徒等から受け入れる授業料や入学金などの額です。

特定の目的のために積み立てた有価証券等の償還金や貸付金、立替金等、未収入金等を回収したときの収入です。

当年度の収入として計上し、資金は翌年度以降に受け入れるものや、前年度に前受金としてすでに資金を受け入れているものを差し引くことにより、当年度の資金の収入額を明らかにしています。

主な支出内容は、次の通りです。

- ・大 学 八景キャンパス1・2号館 空調設備他更新工事
室の木キャンパスE1号館 改修工事
- ・中 高 高校特別教室棟 空調設備更新工事
- ・六浦中高 2号館 空調設備更新工事
- ・小学校 教室棟1階 理科室・準備室建具等更新工事
- ・六浦小 1・2号館 各階トイレ部分改修工事
- ・六浦園 厨房 給排気設備フード取付工事

主な支出内容は、次の通りです。

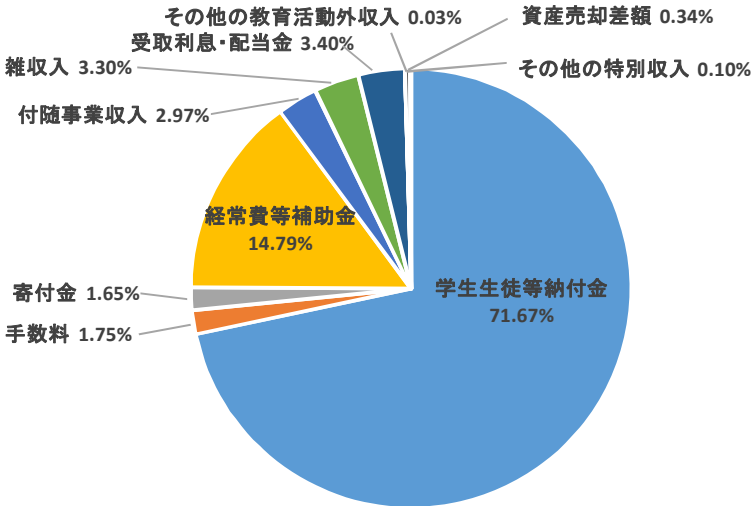
- ・大 学 オンプレミス型図書館システム更新
- ・中 高 教員用PC
- ・六浦中高 高校生用ロッカー
- ・小学校 実験器具収納戸棚
- ・六浦小 AED自動体外式除細動器

公社債、投資信託の年間購入額の合計及び退職給与引当特定資産、減価償却引当特定資産等への繰入額です。

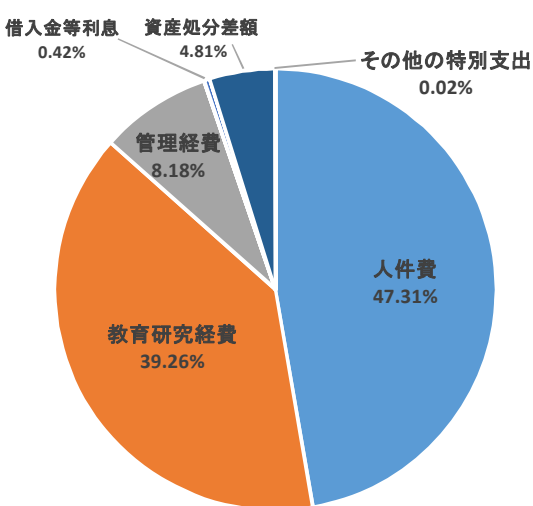
前年度中の活動に係る支出のうち、当年度に支払われた未払金、他、貸付金、前払金、立替金などの支出です。

当年度の支出として計上し翌年度に支払うものや、前年度に前払金としてすでに計上していたものを差し引くことにより、当年度の資金の支出額を明らかにしています。

事業活動収入構成比率



事業活動支出構成比率



貸借対照表

2025年 3月31日

(単位：円)

資 産 の 部			
科目	本年度末	前年度末	増減
固定資産	91,167,226,281	93,862,953,121	△ 2,695,726,840
有形固定資産	63,547,962,352	66,208,563,943	△ 2,660,601,591
土地	11,185,056,733	11,185,055,733	1,000
建物	46,604,965,450	48,449,735,668	△ 1,844,770,218
構築物	1,970,567,645	2,042,703,247	△ 72,135,602
教育研究用機器備品	1,888,255,381	2,102,538,511	△ 214,283,130
図書	1,751,358,254	1,802,090,953	△ 50,732,699
その他	147,758,889	626,439,831	△ 478,680,942
特定資産	16,994,835,672	16,961,824,961	33,010,711
第2号基本金引当特定資産	240,000,000	240,000,000	0
第3号基本金引当特定資産	1,452,670,000	1,452,670,000	0
その他特定資産	15,302,165,672	15,269,154,961	33,010,711
その他の固定資産	10,624,428,257	10,692,564,217	△ 68,135,960
有価証券	7,065,995,486	7,259,248,422	△ 193,252,936
長期貸付金	6,528,000	11,048,700	△ 4,520,700
その他	3,551,904,771	3,422,267,095	129,637,676
流動資産	16,700,514,701	14,960,730,248	1,739,784,453
現金預金	9,354,212,770	8,722,378,886	631,833,884
未収入金	505,053,335	555,729,699	△ 50,676,364
有価証券	6,240,412,129	5,404,784,505	835,627,624
その他	600,836,467	277,837,158	322,999,309
資産の部合計	107,867,740,982	108,823,683,369	△ 955,942,387

有形固定資産の減少は、金沢八景キャンパス(室の木)及び金沢文庫キャンパスの建物減築による除却並びにその他資産の除却及び減価償却によるものです。

建設仮勘定の減少分は、次の通りです。
・大学 金沢八景キャンパス フォーサイト21改修工事精算

退職給与引当特定資産、奨学基金引当特定資産、学院基金引当特定資産、減価償却引当特定資産です。

大学、中高等の貸与奨学金の貸付残高です。

(単位：円)

負 債 の 部			
科目	本年度末	前年度末	増減
固定負債	13,150,086,574	13,230,618,589	△ 80,532,015
長期未払金	3,551,589,768	3,654,701,434	△ 103,111,666
長期前受金	75,000	24,750	50,250
預り保証金	3,000,000	3,000,000	0
退職給与引当金	9,595,421,806	9,572,892,405	22,529,401
流動負債	5,448,370,541	5,259,539,978	188,830,563
未払金	1,776,456,368	1,880,700,964	△ 104,244,596
前受金	2,746,313,951	2,620,487,165	125,826,786
預り金	925,600,222	758,351,849	167,248,373
負債の部合計	18,598,457,115	18,490,158,567	108,298,548
純 資 産 の 部			
科目	本年度末	前年度末	増減
基本金	108,414,219,940	111,974,551,912	△ 3,560,331,972
第1号基本金	105,357,549,940	108,917,881,912	△ 3,560,331,972
第2号基本金	240,000,000	240,000,000	0
第3号基本金	1,452,670,000	1,452,670,000	0
第4号基本金	1,364,000,000	1,364,000,000	0
繰越収支差額	△ 19,144,936,073	△ 21,641,027,110	2,496,091,037
翌年度繰越収支差額	△ 19,144,936,073	△ 21,641,027,110	2,496,091,037
純資産の部合計	89,269,283,867	90,333,524,802	△ 1,064,240,935
負債及び純資産の部合計	107,867,740,982	108,823,683,369	△ 955,942,387

退職給与引当金は、退職金規程による期末要支給額の100%を基に計算して計上しています。

土地、建物、構築物、機器備品及び図書等の固定資産の取得額です。

新たな学校の設置、既設の学校の規模の拡大、教育の充実向上のために将来取得する固定資産の取得に充てる資産相当額です。

奨学金等の基金として継続的に保持し、運用する預金等の資産の額です。

事業活動計算書により算出される運転資金として恒常的に保持すべき資金の額です。